

① 「意味から学ぶ常用漢字」準2級、第55回、56回(122ページ～125ページ)をテキストに書き込む。

② 教科書20～32ページ「山月記」を読み、「学習プリント②補足4」に取り組んだうえで、

四月二〇日版で配信済みの「学習プリント②」「課題2」「三つ目の空欄」、「学習プリント③」「課題2、3」に取り組む。

○②については、A4用紙にプリントアウト(印刷)したものに書き込み、四月二〇日分とあわせて提出する。クラス・番号・氏名を必ず明記すること。

A4用紙がない場合は、その他の大きさの紙に縮小等で印刷するなど、各自工夫すること。

(補足プリントは今回で一区切りのため、今までの分をまとめてホチキス等で止めておくこと)

○提出方法・提出日については未定。指示があり次第提出できるように準備しておくこと。

○今回は、教科書三〇ページ〜物語の終わりまでの範囲について扱います。学習プリント②【課題2】の3番目の場面の内容整理や、学習プリント③【課題2】に取り組む手がかりとします。

〔場面3〕 二つ目の頼みごとをする李徴

・夜明けが近づき、別れの時がくる↑〔A〕 に 時〔が近づいたから。

←

・李徴の〔B〕 〔について、袁惨に頼みごとをし、了承される。

李徴の運命は知らないはずなので、〔C〕 虎になった／亡くなった 〕と伝えてほしい。

妻子が路頭に迷い、飢えて凍えることのないように計らってくれたら嬉しい。

←

☆叢中から慟哭（大声で泣きわめく）の音がする。その後、自嘲的な声で李徴が言う。

「本当は、人間だったなら、このことを〔D〕 まずお願いすべきだった／頼みたくなかった 」。

〔E〕 より 〔を気にかけるから、猛獣に身を墮とすのだ。〕

…詩の才能への自尊心、執着心を反省し、自嘲する。

←

・付け加えての頼みごと

袁惨の帰りにこの道を〔F〕 また通ってほしい／通らないでほしい 〕

…なぜなら、〔G〕 友とまた話したいと思ったから／友と気付かず襲うかもしれないから 〕。

←

☆さらに、別れ際について頼みごと

前方にある丘の上で〔H〕 〔もらいたい。

もう一度、今の姿〔I〕 の姿〕を見せよう。

…そうする理由は、〔J〕 が に再び 〕という気持ちを抱かせないため。

←

・袁惨との別れ

懇ろに別れの言葉を述べ、馬に乗る袁惨と、叢中から悲泣の音が聞こえる李徴

↓袁惨一行が丘の上について振り返ると、〔K〕 〔が茂みから道に躍り出た。

〔K〕 〔は、月を仰いで、二、三声〔L〕 慟哭／咆哮 〕すると、

また叢に踊り入って姿を消したのだった。

〔応用〕深読みに挑戦してみよう〕…☆学習プリント③【課題3】に関連して

①「山月記」全文から「月」や「月の光」がどのように描写されているか、すべて抜き出してみましょう。

②「山月記」の数少ない風景描写である「月」は、何かの時間や、何かとの距離感を表すものとも読めます。思いつく「時間」や「距離感」を上げてみましょう。（これまでのプリントにも少しヒントがあります）